

行田市のPR作戦・part2

賑わい創出作戦・誇れるまち行田市

平成27年2月26日

市民大学5期生 産業経済グループ

メンバー 小野田 猛、市来 泉、藤野 安廣、
海野 親史、小暮 守、山銅 幸男

観光都市を目指す行田市にとって市民が誇れるまちの創出には、真の活性化のために、賑わいと活気と活力に満ちた街の方策が必要です。

• 行田市は歴史と観光資源の宝庫である。

古代から未来へ夢をつなぐ町と銘うってさまざまな創出に取り組み、実現してきた経緯がある、例を挙げれば

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ・ <u>川のまるごと再生プロジェクト</u> | 遊歩道やサイクリングロードの整備 |
| ・ <u>ふるさとづくり事業</u> | まちなみ景観の創出 |
| ・ <u>住まいる行田、子育て支援</u> | 子育て世代の負担軽減、子育て世帯の定住支援 |
| ・ <u>企業誘致条例</u> | 奨励金交付による雇用の確保、人口減少対策 |
| ・ <u>その他</u> | 田圃アート、忍城時代祭 等 |

賑わいの創出による活力あふれる街の実現に向けさまざまな角度から取り組んでいるが、市民はこれらのことをどこまで知っているのか大きな疑問である

- ・新町通りに花を植えてベンチを作った
「そのベンチでの利用者がいるのか? あまり目に留めたことがない」
- ・蓮華寺通りは煉瓦で綺麗になった
「市民の人がどこまで知っているのか(蓮華寺通り)はどこか」

「市では行田らしさ」をもとめているが

- ・栄えた文化 *過去のものであったが、観光資源として見直しが始まったばかりである*
- ・水に育まれた街 *最近、浄化された水辺空間になろうとしているが?*
- ・蔵めぐり *一部しか利用されてない*
- ・北関東の中心地 *過去の遺物であり誰も認識がない*

近隣の自治体の取り組みを研究すると

春日部市の例

- ・若者の定住のため(大学生向けに)自分で
 - ①家賃の補助 空き住宅(団地)の家賃を補助し1/3にする
 - ②大学に通学するための電車賃を半額負担

但し面接を行い地域のイベントに参加を義務付けした。これにより若者が地域に密着しそのまま住み続ける人も出てきた(行田市も、ものづくり大学の学生達ともっと親交を深めるべきでは)

静岡市の例

- ・高齢者の生きがいやりがいを提供するために
24名が参加して店を開店した。一人当たり5万円を出資して170万円でスタートしたが、資金的に厳しく、殆どの方がボランティア(やりがいを果たせる為に時給180円出した)で参加、**平均年齢73歳 代表者は79歳**
料理が得意な人、手芸が得意な人、家庭菜園の野菜等、得意なものを売る場所を提供した。
結果 参加者は生き生きとし、人と人とのコミュニケーションによりお客も喜んで買い物に参加していた。

行田を代表するグルメはゼリーフライでいいですか!!

我々のチームは行田市の産業経済発展についての検討を行いました。なんととっても愛されるゼリーフライを思いつきました。高齢者社会が進むにつれ年金生活者が増え、暇を持て余す人がますます増え、楽しく健康に過ごせる店づくりを計画しました。

ゼリーフライを研究し自ら売り出すことを考えゼリーフライの食べ比べを行いました。

- A店 非常にボリュームがあり食べ応えがあった
- B店 作り置きしており味がない
- C店 味が濃いがあたたかい
- D店 まあまあおいしかった

その後にY店でフライに挑戦したが、これが非常に美味しく全員の評価がよかった。

更に行田市主催のゼリーフライ大会での優勝店でも食べたが、やはり優勝するだけの美味しさがあると実感し、もっと多くの市民と観光客の皆さんに愛され買って頂けると確信しました。

しかし、店を出すのには資金調達、調理人、材料の仕入れ等それなりの知識と経験、が必要であり、採算が取れないと判断し、このメンバーでは非常にムリがあると全員が悟ってしまいました。

どんなに美味しくてもゼリーフライです。これからの道のりは険しいと思いますが大きな岐路でしょう。このままこだわって我が道を行くのか、または行田の古代から中世にかけての食文化を研究して、新たに誕生させて売り出すことも大切でしょう。この会場にお店の経営に経験がある方や意欲のある方がいれば、助成金制度を利用した空き店舗の利用制度を生かし、我々のメンバーがボランティアにて応援していきたいと思いますが……いかがでしょうか!!



「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出」

基本計画が昨年3月に新たにスタートされていますが、計画の方針、策定は驚くほど素晴らしい内容です。

しかしウォーキングという文字は皆無です。近隣の市町村のまちと商店街の賑わいに関するPR紙などを見るとすべての誌上にはウォーキングという文字が掲載されていることが確認されています。地元の企業の有志、関係する緒団体にも声をかけ実行委員会などが主催して、参加者の募集もしています。

何故、我がグループがウォーキング大会に的を定めたのでしょうか。
参加者にはウォーキング大会を通して、まちを知ってもらう大きな狙いがあることが解ってきました。

どうしたら市外、県外、外国の方々にも参加して頂だける大会ができるか検討してみました。
歩かないと気が付かない、ふるさと行田のまち。市民のみんながじっくり、しっかりと行田のまちを歩く機会がありますか。
歴史ある多くの文化財は国、県、市の指定を加えると94件もありますので歩くことで、きっと再発見することができるのです。

- **日高市**では昨年の11月に第1回のワンデーウォークが開催されて、1800人が参加しておりますが、2年から3年目には1万人規模の大会をめざしているようです。
- **熊谷市**でも復興支援ウォークと称して今年も、3月8日に実施されますが、4回目の大会になります。

市民誇れる魅力ある町づくりには保育園、小、中、高生から年配の方々まで幅広く 誰でも参加ができるウォーキングの開催することで、観光資源と景観を生かし、まちをまず知ってもらう、狙いがあると指摘しています。 6

特に近隣の**東松山市**の歴史は古く37回のスリーデーマーチを開催している組織になり、隣接する10市町との連携で去年は8万5千人を超す大会へと飛躍しています。今では県外、外国の方々の参加も多く目立つ大会です。

行田市も多くのウォーキングと、歩くイベントがありますが、参加者は市内の方々が多く、他の市町村との連携は無く、いずれも100人前後の大会が実施されています。

様々な組織と団体が趣向を凝らして行われていますが、どうしたら市外、県外、外国の方々にも参加して頂だける大会ができるか検討してみました。

ウォーキングを楽しんでいる方が行田市内に大勢います！

・市内あちらこちらで、総合運動公園でも大勢の方が。

・高齢社会の到来

・余暇時間の増大

・健康願望の高まり

・ウォーキングは多くの人々と交流できる

・健康と交流で生涯スポーツとして、ライフスタイルウォーキングを楽しみウォーキングの輪が拡大している。

皆で歩くといろいろな事が見えてきます！

・歩くことで観光の再発見ができる。

・小、中、高生へのウォーキングマナー教育指導。

・環境に深く寄与できる。

・自分達のふるさとを再発見して誇れるまちになります

ウォーキングのコースを設定してみました

(行田武蔵水路千本桜マーチの実施)---当初は1日でスタートとし、2日間コースを目指します。

行田市は日本一の利根川、埼玉古墳群、古代蓮、忍城等は市民がだれでも知っているが市外の人にはどれだけ知っているでしょうか。

様々なスポーツイベントがありますが、なかでも鉄剣マラソン大会が知られていますが、参加できるのは若年層が中心であり、高齢化が進む日本にあって、だれでも参加出来て行田市をPRするための施策として大きな効果が期待できるでしょうか？

我々のチームとしてウォーキング大会を提言いたします。

①実施にあたって各自治体へのPR

- ・武蔵水路の水は利根川より荒川を通して東京まで伸びており県南及び東京都民の飲料水となっており、そこを強く訴え、この恩恵を受けている自治体に対して参加の協力をして頂く。
- ・隅田川が綺麗になったのは武蔵水路の影響が大きくそれをPRする。



②割引券の発行（1年間有効によりリピート客の呼び込み）

- ・忍城博物館 → 無料券の発行
- ・足袋蔵 → //
- ・さきたま博物館 → 半額にする
- ・古代蓮会館 → //

③参加費用 1日1000円とする（保険料込）

④メイン会場

- ・総合公園を起点として利根大堰から古代蓮の里、古墳公園、忍城を経由するコース等を設定する（5キロ、10キロ、20キロ等を設定）

⑤実施時期

- ・武蔵水路千本桜の開花時期ごろとする

⑥駐車場及びアクセス

- ・総合公園の125号バイパス北側の道路を半分駐車場として利用
- シャトルバス
- ・総合公園→JR行田駅→秩父鉄道行田市駅→総合公園
 - ・総合公園→古代蓮の里→古墳公園→総合公園

⑦参加と協力指導頂ける組織・団体等

- ・近隣の各市町村の関係個所(上野村)・行政関係各所・ものづくり大学学校関係(幼稚園と小、中、高)・埼玉県国民年金基金
- ・各自治会・子供会組織・文化団体連合会・NPO法人・体協・しみん大学のOB・しみん大学の在校生・企業と病院
- ・その他各団体等

その他にたくさんの団体等がありますが、関係各所、行政各所に働きかけながら、我グループ、さらにはこの会場におられる皆様にも参加いただき、県内加盟団体の指導を頂き行田のウォーキング大会の実現に向けて努めてまいりたいと思います。

・現在、さまざまな自治体でウォーキング大会を実施しているが、これだけの観光施設、観光資源がある行田市は他に類を見ない。

・**行田市民大学の卒業生、在校生の全員のボランティア活動により必ず実施できるものと考えます。**

具体的な開催方針案

行田市民と市外の方々の、健康と交流、教育、環境に寄与、一番大きく期待できる観光再発見の場を提供し、みんなで歩き、生涯スポーツとしてのライフスタイルウォーキングを提唱して、継続できる大会にしたいと思います。

【行田武蔵水路千本桜ワンデーマーチ】

日本一の利根川、万葉に詩われた埼玉の津、全国を制した足袋産業

————— 古代から現代までが息吹く街 —————

- スタート、ゴールは同一の場所とする
 - ・ 会場設営が1箇所ですむ
- シャトルバスの手配が容易である
 - ・ 総合公園→JR行田駅→秩父鉄道行田市駅→総合公園
 - ・ 総合公園→古代蓮公園→古墳公園→総合公園 の2コースを設定
- 駐車場が確保できる
 - ・ 740台と大型バス10台、公園の周りの道も半分駐車場として使用する(過去に300台の実績あり)
 - ・ 古代蓮の里と古墳公園には合わせて約850台と大型バス12台が可能
- 各観光施設への割引券---1年間有効とする





筑波山



ウォーキングコース

● コース設定

【20キロコース】 実質22キロ

・総合公園→(6.7k)→利根大堰→(8.2k武蔵水路経由)→古代蓮の里→(2k)→古墳公園→(3.1k)忍城→(2k)→総合公園

【15キロコース】

・総合公園→(6k忍川)→古代蓮の里→(2k)→古墳公園→(3.1k)→忍城→(2k)→総合公園

【10キロコース】

・総合公園→(4k忍川経由)→水城公園→(1k)忍城→(2k)→総合公園

【5キロコース】

・総合公園→(2.5k)→水城公園→(0.5k)忍城→(2k)→総合公園

【その他のコース設定】

・上記に市内を經由するコースも設定する、八幡神社、足袋とくらしの博物館・足袋蔵等コース

★ 昨年の3月に[行田らしい町並みつくりとにぎわい創出基本計画]が新たにスタートされ、計画の方針、策定は驚くほど素晴らしい内容ですが、どうでしょうか。ウォーキングという文字は皆無です。

何故我グループがウォーキング大会に的を定めたのでしょうか。

参加者にはウォーキング大会を通して、まちを知ってもらおう大きな狙いがあることが解ってきました。

歩ける喜びと歩ける楽しさを味わって頂けるような行田市ウォーキングをオール行田で成功させたい。

我グループ、さらにはこの会場におられる皆様にも参加して、県内加盟団体の指導頂き行田のウォーキング大会の実現に向けて努めてまいります。

行田では多くのイベントが計画実施されておりますが、近隣の市町村、県外、外国人まで参加のPRをしている大会があるでしょうか…

それぞれのイベントの主催、後援先、協力先を検証すると呼びかけが少ないことが解りました。

市内のそれぞれの組織と団体等は、参加要請すれば大きな力が期待できる組織ですが、声掛けを待っています、そして参加をします。

行田市民が「**いいまちだよ 引越してくれば!!**」と、言えるようになるには市民の**集結と結束が最も大切です**行政、各種団体の利害関係、意地、立場なんて言ってはいけません。

・ 行田足袋が国登録有形文化財に 県内2件目

関係者の皆さんと市民の皆さん おめでとう!!

行田足袋がようやく目覚めようとしています。

現在は伝統文化の足袋産業を支えている6業者で努力されておりますが、江戸時代から現在まで守ってきた関係者に感謝し、さらに大きな産業へと発展させたいものです。郷土博物館・館長をはじめ、足袋蔵の皆さん、その他関係者の皆さんにもスポットライトが当たろうとしているこの機会に多くの観光施設と文化財も眠りから目覚めさせたいものだす。ふるさと行田の再発見で今こそ良いチャンスです。

・ このままだと行田市は2040年にどうなるの……どんな自治体となるのですか。

今回は、視点を変え、行田市をもっと売り出す為の施策を検討しましたが、

行田市民が一丸となり誇れる町になるよう集結しましょう。

当初はワンデ-マ-チを成功させてから、翌年はツーデーマーチを予定計画したいものですが、見えてくるものがあります。

街の中心へ呼び込むことができます。

- ・歴史が創った美しい街並み、多くの文化財と自然豊かな景観が1日だけでは無理があります。(あくまで歩くことが優先ですが…)
- ・食事場所・宿泊設備・大勢の組織団体市民ボランティア

行田市が一丸となり大集結、大結束すると見えてきます**「 誇れるまち我が行田市 !! 」**

歩く祭典 多彩な舞台 魅力がいっぱいの行田です、ウォーカーの皆さまのご参加を心より歓迎いたします。楽しく歩けば素敵な出会いが必ずあります、ふれあいを楽しみながら、胸おどらせて、歩ける喜びと歩ける楽しさを味わって頂けるような行田市ウォーキングをオール行田で成功させましょう。



